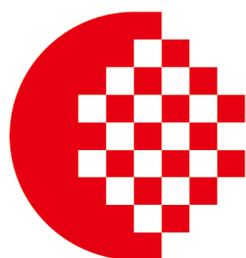


文化庁 令和2年度 第1次補正予算事業
子供のための文化芸術体験機会の創出事業

【プログラム選択型】

実施の手引き（実施校用）



文化庁

文化庁参事官(芸術文化担当)付学校芸術教育室
株式会社近畿日本ツーリスト首都圏

目次

①「子供のための文化芸術体験機会の創出事業」事業概要	…	P.1-2
②【プログラム選択型】における実施の流れ	…	P.3-4
③日程変更や中止の場合の手続きについて	…	P.5
④【プログラム選択型】における報告書の作成について	…	P.6
⑤様式集	…	P.7-16
⑥「子供のための文化芸術体験機会の創出事業」ウェブサイトについて	…	P.17-18

本手引書は【プログラム選択型】に採択された実施校に向け作成しています。【学校による提案型】で採択を受けた学校におかれましては【学校による提案型】（実施校用）の手引きを御参照ください。

■ 事業全般、報告書類等に関する問合せ先：株式会社近畿日本ツーリスト首都圏

本事業は、文化庁から事務業務の委託を受けて株式会社近畿日本ツーリスト首都圏が実施しています。問合せは次の連絡先をお願いします。

株式会社近畿日本ツーリスト首都圏

「子供のための文化芸術体験機会の創出事業」担当宛

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-14-24 西新宿KFビル 3 階301

(KNT ビジネススクリエイト内)

TEL: 0570-064-752 (10:00-17:00) Email: kodomo-soushutsu@gp.knt.co.jp

事業専用HP URL: <http://www.kodomogeijutsu.go.jp/>

■ 各地域ごとの締め切りや提出先についての問合せ先：都道府県等担当部局

※各学校からの報告書類の取りまとめを都道府県・政令指定都市にお願いしています。

提出先及び締め切り日については、都道府県・政令指定都市へ問合せくださるようお願いいたします。

①「子供のための文化芸術体験機会の創出事業」事業概要

1. 事業概要

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止せざるを得なかった文化芸術鑑賞・体験教室等について、文化庁が支援することにより、子供たちが質の高い文化芸術に触れる機会を創出し、冷え込んだ文化芸術への関心を取り戻すことを目的とします。

2. 実施区分

(1) 学校による提案型

学校が希望するアーティストや芸術団体等による鑑賞・体験教室の開催を支援します。

学校が希望するアーティストや芸術団体等による鑑賞・体験教室の開催支援	
対象	小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校(前期)、特別支援学校
会場	教室、体育館等の学校施設等
講師等	学校が希望するアーティストや芸術団体等
学校による提案型 対象分野	1. 音楽(ピアノ、声楽、弦楽器、パーカッション、管楽器など) 2. 演劇(現代劇、ミュージカル、人形劇など) 3. 舞踊(バレエ、現代舞踊、身体表現など) 4. 大衆芸能(落語、講談、漫才、浪曲など) 5. 美術(洋画、日本画、版画、彫刻、書、写真など) 6. 伝統芸能(歌舞伎、能楽、人形浄瑠璃、日本舞踊、和太鼓、箏、三味線など) 7. 文学(俳句、朗読など) 8. 生活文化(囲碁、将棋、華道、茶道、和装、食文化など) 9. メディア芸術(メディアアート、映画、アニメーション、マンガなど) 注)上記以外の分野でも、子供たちに文化芸術活動の素晴らしさを伝えることができるものであれば、実施可能です。

(2) プログラム選択型

文化庁事業「文化芸術による子供育成総合事業」において特に学校からの実施希望が多い3分野(「音楽(オーケストラ)」、「演劇(児童劇)」、「伝統芸能(能楽)」)及び令和2年度より小学校でプログラミング教育が必修化されたことやGIGAスクール構想の実現に向けて親和性の高い「メディア芸術」の計4分野について、各分野統括団体等の協力により、子供たちに質の高い文化芸術の魅力や多様性を伝えるプログラムの中から学校等が選択するものの実施を支援します。

本事業において紹介する鑑賞・体験プログラムの実施支援	
対象	小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校(前期)、特別支援学校
会場	教室、体育館等の学校施設等
講師等	次の4分野の鑑賞・体験プログラムを実施する団体
プログラム選択型 対象分野	1. 音楽(オーケストラ) 2. 演劇(児童劇) 3. 伝統芸能(能楽) 4. メディア芸術

3. 主催者

主催者及び共催者は次のとおりですが、必要に応じて会場の管理者、市(区)町村、市(区)町村教育委員会を「共催者」として加えることができます。

[主催者] 文化庁

[共催者] 都道府県、都道府県教育委員会、政令指定都市、政令指定都市教育委員会の

いずれか又は複数及び実施校

※以下、共催者と文化庁が認める共催者(会場の管理者、市(区)町村、市(区)町村教育委員会)をあわせて「地元共催者」と表記します。

①「子供のための文化芸術体験機会の創出事業」事業概要

4. 【プログラム選択型】における実施方法

(1)実施回数

原則として1校につき1回

※ただし、新型コロナウイルス感染症予防の観点より、3つの「密」（密閉空間・密集場所・密接場面）を避けるために鑑賞・体験人数を分散する必要がある場合、まずは実施団体へ御相談ください。

(2)派遣団体について

実施する企画は申請校の申請内容及び派遣予定団体のスケジュール等を勘案して決定していますが、決定通知後に事務局または協力団体及び派遣予定団体より公演開始時間や公演回数及び新型コロナウイルス感染症予防対策等の詳細についての事前ヒアリングを行った段階で、通知内容での実施が困難と判断した場合には、実施企画や派遣予定団体、実施日を変更させていただきます場合もありますのでこの点お含み置きいただけますようお願いいたします。

(3)会場

原則として実施校の施設（教室、体育館等）とします。

※ただし、複数の学校が合同で実施する場合や成果発表会等の実施など全校児童生徒等を収容するスペースがない場合等は、地域の文化施設等適切な場所を会場とすることができます。採択決定後に新たに実施校以外の会場での実施が必要となった場合は、速やかに事務局まで御連絡ください。

※新型コロナウイルス感染症予防の観点より、実施の際には3つの「密」（密閉空間・密集場所・密接場面）にならないようにする等の配慮をお願いいたします。

(4)実施期間

原則令和2年10月1日(木)から令和3年2月26日(金)まで

※新型コロナウイルス感染症の影響により、予定通りの実施が難しい場合があるかと思っておりますので、日程の変更が生じた場合は5ページの「日程変更や中止の場合の手続きについて」を御確認の上、速やかに事務局まで御連絡ください。また、変更後の日程が上記実施期間を過ぎる見込みである場合は、まずは事務局へ御相談ください。

(5)対象経費について

【プログラム選択型】における経費精算に関する手続きは、実施団体(または協力団体)及び事務局間で行います。地元共催者負担経費が生じた場合は、実施校もしくは共催者側で御負担いただけますようお願いいたします。

(6)報告書の提出について

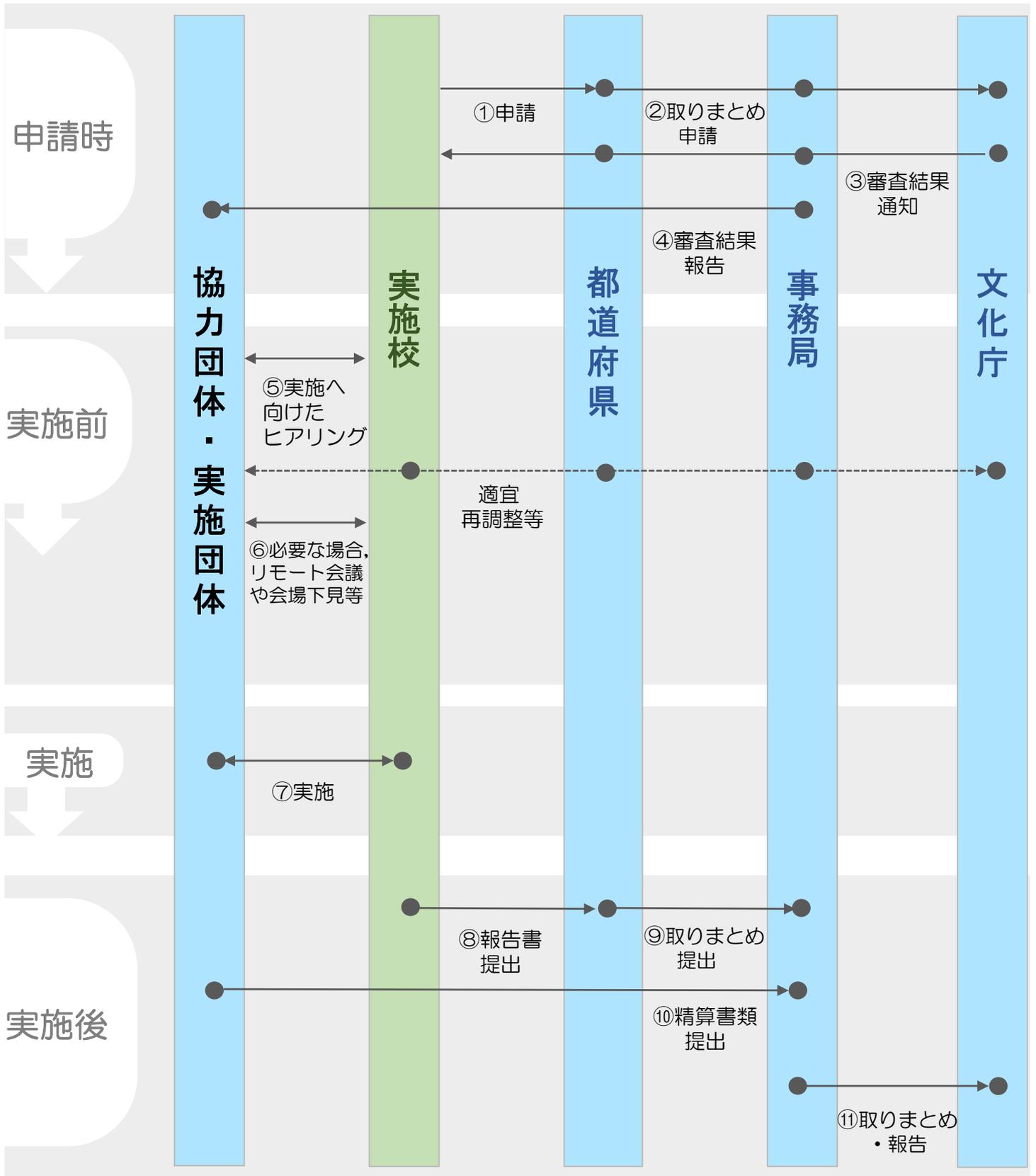
実施終了後に【プログラム選択型】の実施校が作成する報告書は「【様式9】実施報告書」と「【様式10】実施状況報告書」です。6ページの「【プログラム選択型】における報告書の作成について」を参照し、作成の上、期限内に都道府県等の担当部局を通して事務局へ御提出ください。

② 【プログラム選択型】における実施の流れ

1. 申請から報告書提出までの流れについて

申請から報告書提出までの流れは次の図のとおりです。都道府県・政令指定都市教育委員会及び実施校における手続等の詳細につきましては、次項を御参照ください。

「●」の箇所が手続関連箇所です。



② 【プログラム選択型】における実施の流れ

2. 各手続きにおける留意事項等について

各手続き段階における留意事項は次のとおりです。

実施校における留意事項

事業実施前

- 文化庁主催事業であることの明示
実施校において、学校の広報誌（学校だより、学年だより等）に本事業を掲載する場合は、文化庁主催事業であることを明記してください。
- 決定通知を元に実施報告書類の確認と精算を行いますので必ず通知内容を保管してください。
- 決定通知後の事前ヒアリングにおいて、通知内容での実施が困難と判断した場合には、企画実施や派遣予定団体、実施日を変更させていただく場合もありますのでこの点お含み置きいただけますようお願いいたします。
- 実施団体との事前打ち合わせでは、次のことを確認してください。

【スケジュール】

- ・実施団体の来校時間
- ・搬出入の流れと時間
- ・リハーサル（共演のリハーサルを含む）等
- ・休憩のタイミング

【撮影について】

- ・写真や動画の撮影が可能か

【 その他 】

- ・搬出入の経路等
- ・来場する車両の大きさ（寸法・重量）
- ・その車両が通れる経路はどこか
- ・駐車位置はどこか（体育館に横付け可能か）等
- ・昼食のとり方
- ・ゴミの処理方法
- ・控室の準備
- ・**新型コロナウイルス感染症予防対策** 等

事業実施後

- 実施終了後に「【様式9】実施報告書」と「【様式10】実施状況報告書」を作成し提出してください。
- 実施校が作成した報告書の提出期限は提出先の都道府県等担当部局毎に異なります。各提出先の案内に従って提出してください。

都道府県等担当部局における留意事項

事業実施前

- 実施の手引きについて、実施校へデータ送信又は事業ウェブサイトからダウンロードしていただきますよう御案内ください。
- 実施日程等の変更連絡又は中止連絡を受けた場合で、かつ宛先(CC:)に事務局が含まれていない場合、至急事務局へ情報共有（メールの転送等）をお願いします。
- 学校からの報告書の提出期限を予め設定の上、各実施校へ御共有ください。

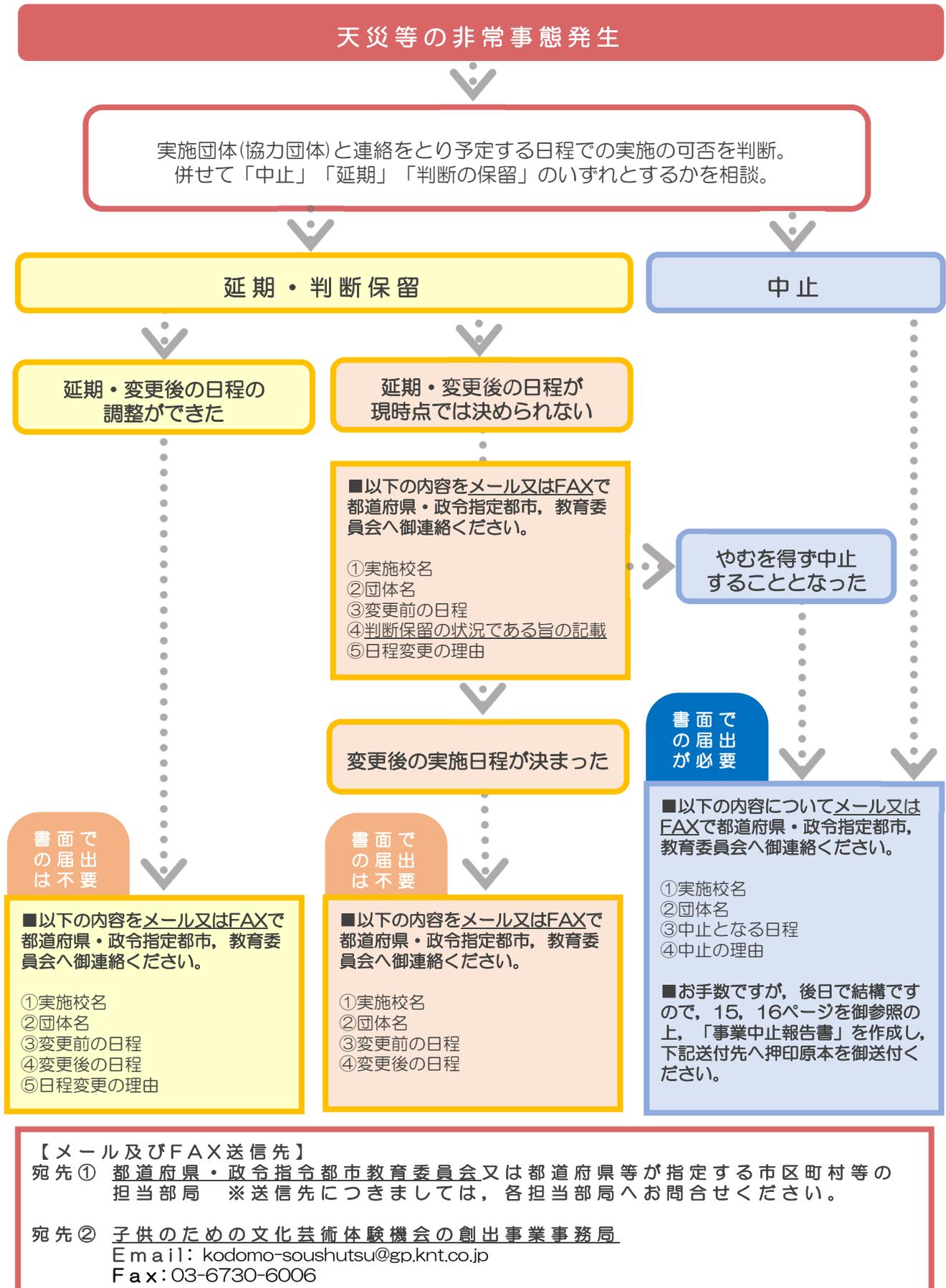
事業実施後

- 各校実施後、1ヵ月以内もしくは令和3年3月8日（月）のいずれか早い日までに実施報告書類を事務局（株式会社近畿日本ツーリスト首都圏）へ提出してください。

※新型コロナウイルス感染症等の影響による実施日程変更があり、事前に令和3年3月1日以降の実施の承認を受けている場合は、この限りではありません。

③日程変更や中止の場合の手続きについて

天災、インフルエンザの流行等により、やむを得ず延期する場合の手続きについて



【メール及びFAX送信先】

宛先① 都道府県・政令指定都市教育委員会又は都道府県等が指定する市区町村等の担当部局 ※送信先につきましては、各担当部局へお問合せください。

宛先② 子供のための文化芸術体験機会の創出事業事務局
E m a i l : kodomo-soushutsu@gp.knt.co.jp
F a x : 03-6730-6006

④ 【プログラム選択型】における報告書の作成について

1. 実施校が作成する報告書の種類について

実施校が作成する報告書類の種類は次の2種類です。

【実施校が作成する報告書の種類】

- ① 【様式9】 実施報告書（プログラム選択型）
- ② 【様式10】 実施状況報告書（プログラム選択型）

2. 実施校が作成する報告書の提出期限・提出方法・提出先について

【提出期限】 実施校が作成する報告書の提出期限は、提出先の都道府県等担当部局毎に異なります。各提出先の案内に従って提出してください。
なお、都道府県等担当部局から事務局への提出期限は各校事業終了後1ヵ月以内又は令和3年3月8日(月)のいずれか早い方としております。

【提出方法】 ①データ送信 ※Excel形式のまま御送信ください。
②データ確認後、事務局から都道府県等担当部局を通して実施校へ原本郵送を依頼いたします。

【提出先】 実施校が作成する報告書の提出先は、提出先の都道府県等担当部局毎に異なります。各提出先の案内に従って提出してください。

3. 経費の精算について

経費の精算については事務局及び実施団体(協力団体)間で行います。地元共催者負担経費が生じた場合は、実施校もしくは共催者側で御負担いただけますようお願いいたします。

プログラム 選択型	経費の取り扱いについて	
	文化庁負担経費	地元共催者負担経費
	<ul style="list-style-type: none">・ 実施団体の公演等に直接係る経費（公演料及び旅費等）	<ul style="list-style-type: none">・ 学校の施設設備の使用及び条件整備に係る経費（光熱水料、ピアノ移動・調律費、暗幕設置経費等）・ 諸雑費（お茶代等）

【様式9】実施報告書(プログラム選択型)

様式9

令和 年 月 日

(株)近畿日本ツーリスト首都圏 御中

殿

※「(各都道府県・政令指定都市の所管課)長」と記入してください

都道府県 政令指定都市名	
実施校名	印
実施校所在地	
実施校代表者	

令和2年度 子供のための文化芸術体験機会の創出事業
実施報告書(プログラム選択型)

令和2年9月28日付け2文参芸第105号で決定のありました令和2年度
子供のための文化芸術体験機会の創出事業(プログラム選択型)が終了しましたので報告します。

記

〈添付書類〉

- ①【様式9】実施報告書
- ②【様式10】実施状況報告書

以上

【様式9】実施報告書(プログラム選択型) 記入例

様式9

書類作成日を記入してください。

令和 × 年 × 月 × 日

(株)近畿日本ツーリスト首都圏 御中

北海道〇〇庁〇〇課長

殿

※「(各都道府県・政令指定都市の所管課)長」と記入してください

都道府県・政令指定都市名を記入してください。

都道府県 北海道
政令指定都市名

実施校名は省略せず、決定通知時の実施校名を入力してください。
実施校名が変更になった場合は、変更届(任意様式)を併せて御提出ください。

実施校名 〇〇市立××中学校

実施校所在地 北海道〇〇市××町***

実施校代表者 文化 太郎

小立〇〇
学〇〇
校〇市

公印を押印してください。

令和2年度 子供のための文化芸術体験機会の創出事業
実施報告書(プログラム選択型)

令和2年9月28日付け2文参芸第105号で決定のありました令和2年度
子供のための文化芸術体験機会の創出事業(プログラム選択型)が終了しましたので報告します。

令和2年度採択分は、「令和2年9月28日付け2文参芸第105号」です。
入力しておりますので、記載内容を確認の上、提出してください。

〈添付書類〉

- ①【様式9】実施報告書
- ②【様式10】実施状況報告書

※ 黄色のセルは手入力してください。入力するとセルが白色に変わります。

※ オレンジ色のセルは、プルダウン(▽印)より選択してください。

※ 未記入がありますと差し戻し・支払の遅延が発生しますので、記入後、すべての項目を記入済みであるか確認してください。

以上

【様式10】 実施状況報告書(プログラム選択型)

様式10 令和2年度 子供のための文化芸術 体験機会の創出事業(プログラム選択型)実施状況報告書 No.1

「*」の箇所は記入必須項目になります。

実施団体名又は企画名 *	都道府県・政令指定都市 *	実施校名 *
	担当者 *	連絡先電話番号

実施日 *		令和	年	月	日 ()
会場 *	その他を選択した場合				
参加者数 *			合同開催参加校名		
※合同開催参加校がある場合、合計人数を記入してください。			1	6	
小 1		人	2	7	
小 2		人	3	8	
小 3		人	4	9	
小 4		人	5	10	
小 5		人	実施内容(250文字) *		
小 6		人			
中 1		人			
中 2		人			
中 3		人			
在校生その他		人			
教職員		人			
保護者等		人			
参加者 総合計	0	人			

地元共催者負担経費			
用途	金額	負担者	合計
			0 円

活用時間	※該当する番号を選び、①通常教科及び⑤その他の場合は、教科名を記入してください。 *				
	①通常教科()	②総合的な学習の時間	③学校行事	④課外活動	⑤その他()
本公演					

【様式10】実施状況報告書(プログラム選択型)

児童・生徒の文化芸術体験状況

■「公演当日まで、文化芸術(◆)を間近で鑑賞したことはありましたか。」

※ホームルーム等で下記の文化芸術体験についての質問をして頂き、その結果を下表に集約してください

【本公演に参加した児童・生徒への質問】

- ① 文化芸術を間近で鑑賞したのは今回が初めてだった
- ② 他の種目を鑑賞したことはあったが今回の種目の鑑賞は初めてだった
- ③ 今回の種目も鑑賞したことがあった
- ④ よく覚えていない

- ◆対象とする文化芸術の種目は以下のとおりです。
- ◆CDやDVDによる鑑賞は除きます。
- ◆本事業のワークショップでの体験は除きます。

【種目】

- ・「音楽」(合唱, オーケストラ等, 音楽劇)
- ※ポピュラー音楽のコンサートは除く
- ・「演劇」(演劇, 児童劇, ミュージカル)
- ・「伝統芸能」(歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸)
- ・「舞踊」(バレエ, 現代舞踊)
- ・「メディア芸術」(映像, メディアアート等)

文化芸術体験児童・生徒数 *

※合同開催参加校がある場合、合計人数を記入してください。

	①	②	③	④	合計	
小 1					0	人
小 2					0	人
小 3					0	人
小 4					0	人
小 5					0	人
小 6					0	人
中 1					0	人
中 2					0	人
中 3					0	人
在校生その他					0	人
総合計	0	0	0	0	0	人

【注意】実施報告書類は、公演終了後速やかに、都道府県等・教育委員会を通じて、事務局へ提出してください。なお、実施状況調(本様式)の提出はExcelデータにてお願いいたします。

【様式10】実施状況報告書(プログラム選択型) 記入例

様式10 令和2年度 子供のための文化芸術 体験機会の創出事業(プログラム選択型)実施状況報告書

No.1

「*」の箇所は記入必須項目になります。

実施団体名又は企画名 *
〇〇交響楽団

都道府県・政令指定都市 *	実施校名 *
〇〇県	〇〇市立〇〇小学校
担当者 *	連絡先
〇〇〇〇〇	(〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)

実施日 *		令和	〇〇	年	〇	月	〇	日	(〇)	
会場 *	実施校の体育館		(会場)その他を選択した場合							
参加者数 *			合同開催校名							
※合同開催校がある場合、合計人数を記入してください。			1	〇〇町立〇〇小学校		6				
小 1	100	人	2			7				
小 2	100	人	3				該当事項がある場合に入力してください。 10校以上の合同開催を実施した場合は、事務局までお申し出ください。			
小 3	90	人	4							
小 4	90	人	5			10				
小 5	90	人	実施内容(250文字) *							
小 6	80	人	〇〇〇〇〇250文字程度〇〇〇〇〇							
中 1	50	人	計算式が設定されていますので、青色の欄には入力しないでください。							
中 2	50	人								
中 3	50	人								
在校生その他	0	人								
教職員	30	人								
保護者等	50	人								
参加者 総合計	780	人								

地元共催者負担経費			
用途	金額	負担者	合計
該当事項がある場合に入力してください。			0 円
計算式が設定されていますので、青色の欄には入力しないでください。			

活用時間	※該当する番号を選び、①通常教科及び②その他の場合は、教科名を記入してください。 *				
	①通常教科()	②総合的な学習の時間	③学校行事	④課外活動	⑤その他()
本公演	①	音楽			

【様式10】実施状況報告書(プログラム選択型) 記入例

青色の部分は、様式10(No.1)に入力した内容から反映されます。

No.2

実施団体名又は企画名 〇〇交響楽団	都道府県・政令指定都市 実施校名 〇〇県 〇〇市立〇〇小学校 担当者 連絡先 〇〇〇〇〇 (〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)
--------------------------	--

全体的評価 子供のための文化芸術 体験機会の創出事業(プログラム選択型)を実施して *

■「児童・生徒にどのような効果がありましたか。」 ※該当する番号横の 内に〇をつけてください(複数回答可)

1	<input checked="" type="checkbox"/>	舞台芸術への関心を高めることができた
2	<input checked="" type="checkbox"/>	豊かな心や感性、創造性をはぐくむことができた
3	<input checked="" type="checkbox"/>	コミュニケーションの活性化に役立てることができた
4	<input type="checkbox"/>	自己認識・他者理解を深めることができた
5	<input type="checkbox"/>	教科学習への意欲を高めることができた
6	<input type="checkbox"/>	文化部活動に役立てることができた
7	<input checked="" type="checkbox"/>	学外の専門家の能力への関心を高めることができた
8	<input type="checkbox"/>	日本の文化芸術に親しみ、理解を深めることができた
9	<input type="checkbox"/>	他国の人々や文化への関心を高め、理解を深めることができた
10	<input type="checkbox"/>	CDやDVD等では得られない反応があった
11	<input type="checkbox"/>	学校行事として文化芸術に関する行事が定着するきっかけとなった
12	<input type="checkbox"/>	学校教育の指導方法に役立てることができた
13	<input type="checkbox"/>	子どもたちの個性や能力を発見したり、理解する機会となった
14	<input checked="" type="checkbox"/>	児童生徒、教員、学校に変化や効果が表れたエピソードや様子がある

※14に該当する場合に入力

15 その他

※15に該当する場合に入力

■ 教職員・担当者としての感想をお聞かせください。(任意)

〇〇〇〇〇〇〇250文字程度〇〇〇〇〇〇〇

250字程度で記入してください。
※特記事項がない場合は「なし」と記入してください。

■ 実施上の問題点、その他ご意見がありましたら記入してください。参考にさせていただきます。(任意)

〇〇〇〇〇〇〇250文字程度〇〇〇〇〇〇〇

【様式10】実施状況報告書(プログラム選択型) 記入例

児童・生徒の文化芸術体験状況

■「公演当日まで、文化芸術(◆)を間近で鑑賞したことはありましたか。」

※ホームルーム等で下記の文化芸術体験についての質問をして頂き、その結果を下表に集約してください

【本公演に参加した児童・生徒への質問】

- ① 文化芸術を間近で鑑賞したのは今回が初めてだった
- ② 他の種目を鑑賞したことはあったが今回の種目の鑑賞は初めてだった
- ③ 今回の種目も鑑賞したことがあった
- ④ よく覚えていない

◆対象とする文化芸術の種目は以下のとおりです。

◆CDやDVDによる鑑賞は除きます。

◆本事業のワークショップでの体験は除きます。

【種目】

- ・「音楽」(合唱, オーケストラ等, 音楽劇)
※ポピュラー音楽のコンサートは除く
- ・「演劇」(演劇, 児童劇, ミュージカル)
- ・「伝統芸能」(歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸)
- ・「舞踊」(バレエ, 現代舞踊)
- ・「メディア芸術」(映像, メディアアート等)

文化芸術体験児童・生徒数 *

※合同開催校がある場合、合計人数を記入してください。

	①	②	③	④	合計	
小 1	60	20	10	10	100	人
小 2	50	45	5		100	人
小 3	45	35	10		90	人
小 4	45	45			90	人
小 5	30	35	20	5	90	人
小 6	30	25	25		80	人
中 1	25	15	10		50	人
中 2	35	10	5		50	人
中 3	40	5	5		50	人
在校生その他					0	人
総合計	360	235	90	15	700	人

【注意】実施報告書類は、公演終了後速やかに、都道府県等・教育委員会を通じて、事務局へ提出してください。なお、実施状況調(本様式)の提出はExcelデータにてお願いいたします。

事業中止報告書（プログラム選択型）

令和 年 月 日

(株)近畿日本ツーリスト首都圏 御中

殿

※「(各都道府県・政令指定都市の所管課)長」と記入してください

都道府県 政令指定都市名	<input type="text"/>
実施校名	<input type="text"/> 印
実施校所在地	<input type="text"/>
実施校代表者	<input type="text"/>

令和2年度 子供のための文化芸術体験機会の創出事業
事業中止報告書(プログラム選択型)

令和2年9月28日付け2文参芸第105号で決定のありました令和2年度 子供のための文化芸術体験機会の創出事業(プログラム選択型)について、下記の理由により事業が中止となりましたので報告します。

記

事業区分	プログラム選択型
実施団体名 又は企画名	<input type="text"/>
実施日	<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日
中止理由	<input type="text"/>

⑤様式集

事業中止報告書（プログラム選択型）（記入例）

「(各都道府県・政令指定都市の所管課)長」と記入してください。
※()内は各都道府県・市名と課名を記入

令和 2 年 12 月 1 日

(株)近畿日本ツーリスト首都圏 御中
北海道〇〇庁〇〇課長 殿

書類作成日

※「(各都道府県・政令指定都市の所管課)長」と記入してください

都道府県 北海道
政令指定都市名
実施校名 〇〇市立××中学校 印
実施校所在地 北海道〇〇市××町***-*
実施校代表者 文化 太郎

公印を押印してください。

令和2年度 子供のための文化芸術体験機会の創出事業 事業中止報告書(プログラム選択型)

令和2年9月28日付け2文参芸第105号で決定のありました令和2年度 子供のための文化芸術体験機会の創出事業 (プログラム選択型)について、下記の理由により事業が中止となりましたので報告します。

記

事業区分	プログラム選択型
実施団体名 又は企画名	芸術 文化朗
実施日	12 月 17 日
中止理由	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>変更理由の詳細を記入してください。</p> </div>

⑥ 「子供のための文化芸術体験機会の創出事業」ウェブサイトについて

※実施の手引きおよび様式等は下記サイトからダウンロードできます。
(<https://www.kodomogeijutsu.go.jp/>)

〈トップページ〉

The screenshot shows the homepage of the 'Cultural Arts for Children's Growth' website. At the top, there is a red banner with the logo and the title '文化芸術による子供育成総合事業'. Below the banner, there are several sections. A red box highlights a purple button that says '実施の手引きおよび様式等ははこちら 募集は終了しました' (Implementation guidelines and forms are here. Recruitment has ended). A blue speech bubble with the word 'クリック' (Click) points to this button. Other sections include '新着情報' (New Information) with dates from 2020.08.27, '文化芸術による子供育成総合事業' (Cultural Arts for Children's Growth) with a 'パンフレット' (Brochure) link, and '子供のための文化芸術体験機会の創出事業' (Creation of Cultural Arts Experience Opportunities for Children) with a description of the program's goals.

令和2年度 子供のための文化芸術体験機会の創出事業

トップ > 子供のための文化芸術体験機会の創出事業 > 令和2年度

実施終了後に提出する書類

① 【学校による提案型】

実施の手引き	ダウンロード	備考
実施の手引き【学校による提案型】(実施校用)	PDF	実施前に必ず熟読してください
実施の手引き【学校による提案型】(芸術団体又はアーティスト用)	PDF	実施前に必ず熟読してください

様式番号	提出書類	ダウンロード	提出方法	備考
実施校が提出する書類	【様式G】実施報告書 【様式ア】実施状況報告書 諸雑費支払依頼書		Excelデータ送信、事務局確認終了後に原本郵送依頼	各校事業終了後1カ月以内または、令和2年9月8日(月)のいずれか早い方までに、道庁等の担当部局を通じて事務局((株)近畿日本ツーリスト首都圏)まで書類が到着するよう余裕をもって提出してください。
中止校が提出する書類	中止届	Excel		
芸術団体又はアーティストが提出する書類	諸謝金及び諸雑費支払依頼書	Excel	Excelデータ送信、事務局確認終了後に原本郵送依頼	

学校による提案型の手引きや様式です。

⑥ 「子供のための文化芸術体験機会の創出事業」ウェブサイトについて

芸術団体又はアーティストが必要に応じて提出する書類
※下記項目にあるものを利用し計上する場合には必ず領収書等を提出してください。

項目	提出書類	提出方法	備考
バス	バス運賃の根拠書類 (運賃表・検察画面のコピー等)		
特急・急行料金	特急・急行料金の領収証 ※切符不可		
航空機	・ 搭乗券または搭乗証明書 ※搭乗案内不可 ・ 航空券の領収証		
高速道路	領収証またはETC利用証明書		・ 必要に応じて提出してください 各校事業終了後1か月以内または令和3年3月8日(月)のいずれか早い方までに事務局((株)近畿日本ツーリスト首都圏)へ書類が到着するよう提出してください。
バック旅行	バック旅行の領収書及び明細	※A4サイズ以下の場合は台紙に貼付して提出	
楽器等運搬のための特別旅客料金, 特急・急行列車座席料金	領収書(写し)		
請求書	■文化庁の規定以外の根拠による役務費等を計上する場合 団体からの請求書及び算出根拠となる規定等		
請求書又は領収書(写し)等	■実施を行う芸術団体又はアーティスト以外に対し実費の支払が生じる又は立替払いを行った場合 発注先からの請求書又は領収書		

学校による提案型の手引きや様式です。

◎ 【プログラム選択型】

【プログラム選択型】実施校におかれましてはこちらの手引きを御参照ください。

実施の手引き	ダウンロード	備考
実施の手引き【プログラム選択型】(実施校用)	PDF	実施前に必ず熟読してください

様式番号	提出書類	ダウンロード	備考
実施校が提出する書類	【様式9】実施報告書 【様式10】実施状況報告書	Excel	各校事業終了後1か月以内または、令和3年3月8日(月)のいずれか早い方までに都道府県等の担当部局を通じて事務局((株)近畿日本ツーリスト首都圏)まで書類が到着するよう余裕をもって提出してください。
中止校が提出する書類	中止届	Excel	

【プログラム選択型】実施校におかれましてはこちらの様式を御使用ください。

◎ (参考)

募集要項	ダウンロード	備考
<子供のための文化芸術体験機会の創出事業> 募集要項	PDF	-

やむを得ず中止が生じた場合は、こちらの様式を作成の上、提出してください。